

高齢者等を地域で支えるまちづくり連携協定

2/23

認 知症の薬を扱う国内の製薬会社6社と、「高齢者等を地域で支えるまちづくり連携協定」を締結しました。6社がまとまって自治体と協定を締結するのは全国初。各社が持つノウハウや情報を受け、市民向け認知症サポーター養成講座などの認知症対策に生かしていきます。



← 認知症対策に関して協力していくことを確認。

認知症対策を協力して

平成29年度郷土史講演会

2/17

明 治元年から150年を迎え、長州藩の高杉晋作と、大村藩士・渡辺昇との関係を紹介する講演会を開催しました。勤王倒幕運動における大村藩のキーマンであった渡辺昇がどのように関わっていたのか、歴史をひもとく内容に、観客は聞き入っていました。



← 幕末維新での大村の歴史に聞き入る観客

150年の歴史を感じて

長崎ウエスレヤン大学との包括連携協定

2/26

活 力ある地域社会の発展と人材育成を目的に、長崎ウエスレヤン大学と包括連携協定を締結しました。同大学は、市内に外国人日本語学校の開設も決めており、今後は国際交流や外国人人材の育成など幅広い分野において協力していきます。



← 協力することを約束し、固く握手を交わしました。

地域社会の発展と人材育成を

新幹線開業アクションプラン策定

2/19

九 州新幹線西九州ルートの開業に向け「(仮称)大村市新幹線開業アクションプラン」を策定します。プランでは、新幹線開業の効果を最大にするため、商工会議所青年部を中心とした策定委員会が、市全体で取り組む魅力発信やおもてなしの方策を盛り込んだ素案を、年内をめどに策定します。



← 新幹線開業を一緒に盛り上げることを確認。

皆で新幹線開業効果を最大に

施政方針

2/28

3 月定例会市議会の開催にあたり、園田市長が、平成30年度の施政に関する方針と予算の概要について説明しました。「オール大村!」のスローガンのもと、今年度も1つ1つの取り組みを着実に進めていくと述べました。詳しい内容は広報おおむら5月号で紹介します。



← 市議会において、力強く施政方針を述べる市長。

オール大村でまちづくり

国道34号(大村～諫早)拡幅要望

2/22

県 や諫早市と合同で、国土交通省や県選出国會議員に要望活動を行いました。国土交通省では、石井国土交通大臣に面会。平成30年度予算化に向けて新規事業採択時評価の手続きに着手し、その候補に「一般国道34号大村諫早拡幅」が入ったとの発表がありました。



← 「前向きに検討したい」との回答をいただきました。

新規事業化に向けて大きく前進